

NPO法人 新聞環境システム研究所

(福岡県福岡市)

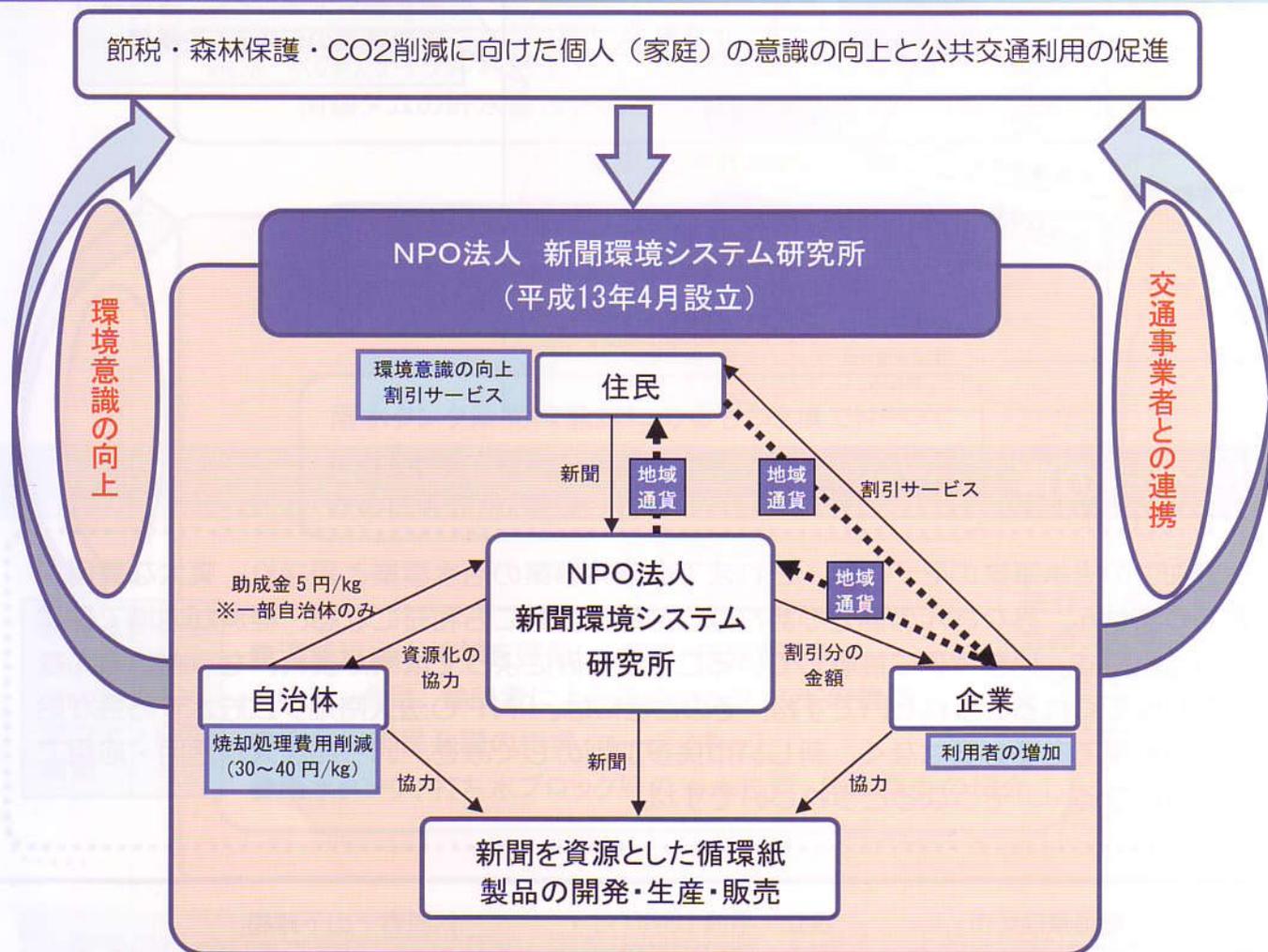
～交通事業者との連携と地域通貨による新聞リサイクルシステム～

1. 事業概要

＜地域通貨を活用した新聞リサイクルシステムの構築・運営＞

- ・新聞紙の収集事業を実施している。新聞紙を地域通貨に交換し、地域通貨を公共交通に利用してもらうことで、税金の節約、森林の保護、CO2を削減するシステムを考案し運営。
- ・新聞重量 1 kgを1ペパ、30 kgごとに 30 ペパ紙幣を発行、地下鉄の売店や定期券販売所、バスセンターで公共交通機関の乗車カード購入の際 80 円の割引券として使用することが可能。
- ・みやこ町の路線バスでは、ペパを利用補助券として車内で直接利用することが可能。
- ・専業1名、ボランティア20名程度で運営。会員は、2011年1月現在約1,600世帯。

2. 地域おこしフロー



- ・新聞のリサイクルシステムを地域通貨と交通事業者との連携により構築。地域通貨の活用が高齢者の外出機会の創出や子どもの環境意識の向上にも寄与。

3. 地域の社会的課題と活動のきっかけ

●社会的課題

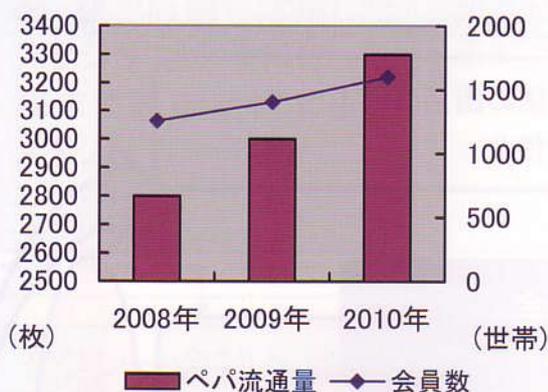
- ・節税・森林保護・CO2削減に向けた個人（家庭）の意識の向上と公共交通利用の促進。

●活動のきっかけ

- ・新聞紙の大量廃棄に疑問を持ち、新聞紙の再利用と公共交通の利用促進を結びつけられないかと考え、地域通貨ペパによる新聞収集のシステムを考案。ペパ事業着手にあたっては、会員登録には電話番号を不要とし、最低限の個人情報で対応、管理できる簡潔なシステムを構築。現在はこのシステムを発展させ、様々な資源循環の事業に使えないかを検討中。

4. 地域への波及効果

ペパの流通量および会員数の推移



5. リーダーの声

- ・様々な主体に信頼してもらうことが重要だと思います。例えば事業を始める上で、鉄道会社に対して信用がないため預託金を提供する必要があったのですが、半年程度運用を続けた時点で信用が得られ、預託金は不要となり、積極的に協力してくれるようになりました。
- ・現在、一部の自治体から新聞収集量に応じた助成（既存の資源分別奨励制度適用）を受けているが、この制度がなくても運営できるよう、事業の拡大・浸透を図っていきたいと考えています。特に、携帯電話を使ったシステムについては、新聞紙だけではなくその他のリサイクルにも活用していきたいと考えています。

所在 : 福岡市東区名島3-6-2-202

設立 : 平成13年4月

代表者 : 川上義光

会員数 : 1,600名

主要事業 : 新聞紙の収集による地域通貨の発行と公共交通利用の促進

ホームページ : <http://www.pepa.jp/>